

2023年度唐崎教会典礼部振り返り

典礼部長：篠田文子

<続き>

冠婚葬祭について：

冠婚葬祭については実は教会法というのがあり、最後の条に「今までのすべての法律は人の魂を救うためであり、それ以上に勝る法はない」という言葉で終わります。

特に婚姻に関して、カトリック信者はカトリック信者と結婚すべきですが、実際は難しいのが現状です。愛し合っている二人を裂くことは逆に愛である神様から遠ざけることになると思います。

葬儀についても本来であれば教会以外で葬儀ミサをすることは禁じられていると言っても過言ではないと思います。ただ、現状では複雑になってきています。故人への思いが一番大事だと思いますので、事情がある場合はまずはご遺族の意向を確認させて頂き、それに沿うようにするのが一番賢明ではないかと思います。

本来であれば教会でして下さいと言いたいところではありますが、最近は家族葬ということもよく聞きます。教会では兄弟姉妹とよく言いますが言葉上だけではなく、本当に共同体として家族ですので悲しみも教会共同体として分かち合いたいと思います。コロナの時は仕方なかったのですが、コロナも収まってきていますので教会で一緒に故人を偲んでお祈りさせて頂きたいと思っています。

5. 黙想会について

待降節黙想会は天津教会からのお誘いもあり次の通り参加しました。また唐崎教会でも主日ミサを実施しました。

- ・開催日時：2023年12月2日8時30分～12時
- ・指導司祭：聖ドミニコ会司祭 米田神父様
- ・テーマ：イエスの実像から見る寅さん・聖体についての話と祈り

四旬節黙想会は唐崎教会独自での黙想会を準備する予定です。

以上、典礼部の振り返りを報告させていただきます。

